



平成 29 年 11 月 8 日

各 位

会社名 タキロンシーアイ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 南谷 陽介
 (コード番号 4215 東証第一部)
 問合せ先 執行役員 財務経理部長 大久保俊哉
 (TEL 06-6453-3845)

通期連結業績予想の修正並びに
 剰余金の配当（中間配当）および期末配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 29 年 5 月 10 日に公表いたしました平成 30 年 3 月期（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

また、平成 29 年 11 月 8 日開催の取締役会において、下記のとおり平成 29 年 9 月 30 日を基準日とする剰余金の配当（中間配当）を実施することを決議するとともに、平成 30 年 3 月期の期末配当予想について修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 平成 30 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）

	売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 150,000	百万円 7,000	百万円 6,500	百万円 4,000	円 銭 41.03
今回発表予想 (B)	150,000	8,400	8,100	6,000	61.55
増減額 (B-A)	—	1,400	1,600	2,000	
増減率 (%)	—	20.0	24.6	50.0	
(ご参考) 前期実績 (平成 29 年 3 月期)	75,118	4,339	4,519	2,695	37.95

(2) 業績予想の修正の理由

平成 29 年 4 月 1 日付の当社によるシーアイ化成株式会社の吸収合併について、第 1 四半期連結会計期間において暫定的な会計処理を行いました。当第 2 四半期連結会計期間においても、取得原価の配分が完了していないため引き続き暫定的な会計処理を行っておりますが、直近での入手可能な合理的な情報に基づく取得原価の配分の見直しを行ったことにより、企業結合時の当社の時価純資産が取得原価を上回ったため、当第 2 四半期連結会計期間において負ののれん発生益を 1,180 百万円特別利益として計上しております。

主に当該取得原価の配分の見直し処理、売上品種構成の変化の影響により、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益が前回公表予想値を大きく上回る見込みとなるため、業績予想の修正を行います。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づくものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 剰余金の配当（中間配当）および期末配当予想の修正について

(1) 剰余金の配当（中間配当）の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成29年5月10日公表)	前期実績 (平成29年3月期中間)
基準日	平成29年9月30日	同左	平成28年9月30日
1株当たり配当金	8円	7円	7円
配当金総額	779百万円	—	497百万円
効力発生日	平成29年12月5日	—	平成28年12月5日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

(2) 期末配当予想の修正

	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想	7円	7円	14円
今回修正予想	—	8円	16円
当期実績	8円	—	—
前期実績 (平成29年3月期)	7円	7円	14円

(3) 剰余金の配当（中間配当）および期末配当予想の修正の理由

当社は、株主の皆様への利益還元を経営上の重要課題の一つと位置づけております。

配当につきましては、安定的かつ継続的な配当を実施していくことを基本方針とし、当期の業績、将来の事業展開、今後の経営環境の変化等諸般の事情を勘案し、総合的に判断いたしております。

平成30年3月期の1株当たりの中間配当につきましては、上記の方針および連結業績を勘案いたしまして、直近予想（平成29年5月10日公表）に比べ1円増配の1株につき8円とさせていただきます。

加えて、期末配当予想につきましても、1株につき8円に修正いたしますので、これにより、年間配当金は、1株につき2円増配の16円となります。

以上